

音楽朗読劇「ハーメルンの笛吹きおとこ」公演 スナップ

2017年9月18日 所沢市民文化センター ミューズ



台風一過の暑い中を、開館前から大勢の観客が詰めかけてくれました。会場は3階席まで満員と盛況でした。



1284年、ハーメルンの町にはネズミが大繁殖し、人々を悩ませていた。



ある日、町に笛を持ち、色とりどりの布で作った衣装を着た男が現れ、報酬をくれるなら街を荒らしまわるネズミを退治してみせると持ちかけた。



男が笛を吹くと、町じゅうのネズミが男のところに集まってきた。



男はそのままヴェーザー川に歩いてゆき、ネズミを残らず溺死させた。



しかしネズミ退治が済むと、ハーメルンの人々は
笛吹き男との約束を破り、報酬を払わなかった。



ハーメルンの街から姿を消した笛吹き男が再び現れ笛を
吹きながら通りを歩いていくと家から子供たちが出てきた



130人の少年少女たちは笛吹き男の後に続いて町の外に出てゆき、市外の山腹にあるほら穴の中に入っていくた。
そして穴は内側から岩でふさがれ、笛吹き男も子供たちも二度と戻ってこなかった。



みんな頑張りました！



台本、作曲の笠松泰洋先生、朗読の鶴見辰吾さん、演出、振り付け、笛吹き男役の広崎うらんさん、楽士のみなさん

【打ち上げ】

